



城内小だより

文責 校長 古賀 弘行

【10月28日（火）6年生「市内陸上記録会」】



伝習館グラウンドで、「市内陸上記録会」が開催されました。種目は、100m走、60mハードル、800m走、ボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び、400mリレーでした。本番で、力強く自己目標記録にチャレンジする姿、互いに応援し合う姿、審判等の先生に礼儀正しく挨拶する姿など、素晴らしい態度が見られました。保護者の皆様、温かい声援ありがとうございました。

【10月29日（水）2年生：あめんぼセンター取材】



生活科の学習で、あめんぼセンターに行きました。春に行った時と比べて違うところや、働いている人の思いや、施設の名前の由来などを質問して、あめんぼセンターにお礼の手紙を書きました。

【10月30日（木）6年生：福厳寺、真勝寺見学】

6年生は、柳川で活躍した武士（立花宗茂、田中吉政）とゆかりのあるお寺を見学し、住職さんから話を聞きました。「真勝寺に行って、田中吉政が新しい道路や堤防、柳川の掘割をつくったことを初めて知りました。」「福厳寺では、立花宗茂の正直さや頭のよさが分かりました。」と感想をもち、郷土柳川の先人たちの人物像や業績、生き方等について学びを深めました。

【11月12日（水）3・4年生：白秋音楽まつり】



「白秋音楽まつり」に、3・4年生が出場し、「ゆりかご」「すかんぽの咲くころ」（作詞 北原白秋）と「夕空」の3曲を、心を込めて歌いました。「白秋ホール」に、子ども達のきれいな歌声が響き渡り、一生懸命歌う姿にも感動しました。

これまで歌詞を大切にしながら練習を積み重ねてきたことや、この音楽まつりで他校の歌を聴くことなどを通して、白秋先生の詩の素晴らしさや、音楽を通じた交流の楽しさを味わうことができたと思います。

【11月前半の取り組み】

学びを深め 運動に励み

歌声を響かせ おもてなしの心を磨く



【1年生：芋ほり、2年生：冬野菜の収穫】



「見て！大きなさつま芋がとれたよ！」10月30日に、1年生は、自分が植えた苗の場所を掘り起こし、赤紫色のさつま芋を収穫しました。芋を手にした子ども達は、満面の笑顔でした。収穫した芋は、12月にお芋パーティーを開いて、みんなで食べる予定です。



2年生が生活科で9月末に植えた冬野菜がととても大きく成長し、これまでにサニーレタス、白菜、レタス、かぶを収穫しています。

【11月前半の委員会活動の取組について】



11月1日～3日の白秋祭水上パレードでは、3日間で城内小の児童、保護者の方、延べ236名が参加しました。会議集会と環境委員会の児童による手作りの横断幕を掲げてのおもてなしは、乗船客から大好評でした。ご協力ありがとうございました。



4日（火）に城内長生会の方と一緒に、環境委員会がプランターの花植えをしました。正面玄関が、色鮮やかなパンジーとビオラの花で美しく飾られ、来校者を気持ちよくお迎えすることができます。

【11月13日（木）6年生：「キャリア教育」】



6年生のキャリア教育に、柳城中2年生の丸山さん、升永さんの2名に来てもらい、中学校での生活や勉強等についての質問に答えてもらいました。真剣に話を聞いていた6年生は、「部活のこと、校則のこと、テストのことを教えてもらい、中学校への不安が減り、楽しみが膨らみました。」「卒業までに、自分自身をもっと高めたいです。」と感想をもちました。

